

生駒市立病院
令和3年度 実施状況調査報告書

目次

診療科目	1
病床数	3
人員体制	5
患者数	7
質の高い医療の提供	9
地域完結型の医療体制構築への寄与	15
救急医療の充実	19
小児医療の充実	23
災害時医療の確保	23
予防医療の啓発	23
市民参加による運営	25
環境に配慮した運営	25
収支	27

病院事業計画(平成27年11月改定)		令和3年度 事業計画	令和3年度 事業報告
診療科目	14 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科	16 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前 9:00～12:00 夕方 17:00～19:00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8:00～12:00 夕方 16:30～19:00(土曜日除く)	16 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前 9:00～12:00 夕方 17:00～19:00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8:00～12:00 夕方 16:30～19:00(土曜日除く)
	上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。	・既存の診療科の医療内容の充実を目指し、常勤医師の確保を図ります。 ・院内の診療科間の連携及びより高次、専門性の高い医療機関との連携を進めます。	・既存の診療科について、常勤医師（令和3年4月に小児科1名、6月には脳神経外科1名）の確保を図りました。 さらに、院内の診療科間の連携を深め、より高次、専門性の高い医療機関との連携体制（脳神経外科、心臓血管外科等における近畿大学奈良病院や奈良県総合医療センターとの連携体制）を推進しました。

令和3年度 事業報告の補足説明					取組の評価・課題	
<診療科目> 令和3年度において、診療科の変更なし <その他>					○発熱外来(帰国者・接触者外来)をいち早く設置し、発熱等コロナ疑い患者への検査・診療を精力的に行い、公立病院として市内におけるコロナ対応の中心的な役割を果たしている。 ○脳神経外科常勤医師の確保により、入院患者の受入が可能となり、検査による早期診断や脳卒中患者へのt-PA静注療法など早期治療体制を整備できた。 ○内科においては、発熱患者の増加に伴い、腎尿路感染症、急性胆道感染症等の患者数が増加し、腎臓泌尿器科や消化器内科と綿密な連携のもと専門的対応を行っている。 ○コロナ対応に注力しながらも、他の専門外来の診療件数が令和2年度より伸びている診療科が多くある。	
内容	開始時期	診察時間	R3	R2		
総合診療科(内科系、外科系を含めて総合的に診察)	H27.7～	月～金 17:00～ 19:00	3,015件	2,668件		
大学の腎臓泌尿器科外科教授による特別外来	H27.9～	月2回 PM (予約制)	305件	283件		
がん治療相談外来 ※1 (放射線科)	H27.10～	週1回 AM				
ペイン(痛み)外来(麻酔科)	H27.11～	月2回 AM	151件	109件		
助産外来※1 (産婦人科)	H28.4～	週1回 PM				
フットケア外来(形成外科)	H28.6～	週3回 AM	463件	407件		
乳腺・甲状腺外来(外科)	H29.10～	週1回 AM	945件	998件		
小児アレルギー外来(小児科)	H30.12～	週1回 PM	141件	107件		
まぶた外来※2 (形成外科)	H28.12～	週4回 PM 週1回 AM	453件	458件		
アンチエイジング外来※2 (形成外科)	H29.4～					
レーザー外来※2 (形成外科)	H29.8～					
下肢静脈瘤外来 ※2 (形成外科)	H31.4～					
消化器外来(小児科)	R3.2～	週1回 PM	19件	7件		
※1 がん治療相談外来、助産外来については、一般外来患者数に含めて算出しているため、件数の算出が不可能 ※2 まぶた外来・アンチエイジング外来・レーザー外来・下肢静脈瘤外来については、形成外科(専門外来)として同一で予約枠を設定しているため、件数の算出が不可能						
内容	開始時期	診察時間	R3	R2		
発熱外来(帰国者・接触者外来)	R2.4～	月～金 9:00～ 16:00 土 9:00～ 12:00	12,306件	4,482件		
<高次、専門性の高い医療機関との連携実績> P12 参照						

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 事業報告
病床数	病床数 210 床	(令和 4 年 3 月 31 日) 病床数 210 床	(令和 4 年 3 月 31 日) 病床数 210 床
	ICU 7 床 小児科 20 床 産婦人科 20 床 内科系 79 床 外科系 84 床	小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床	小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床
		病棟編成 5 病棟、7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU)	病棟編成 5 病棟、7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU)
		<p>・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、病床利用率の向上に向け、入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との連携強化による紹介患者の受け入れに組み込みます。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者の入院受け入れのための感染症病床として、感染症患者用病床 12 床及び疑似症患者用病床 4 床を引き続き確保します。</p>	<p>・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、病床利用率の向上に向け、入院医療に対応できる脳神経外科等の常勤医師を確保しました。また、地域医療機関との連携強化による紹介患者の受け入れに組み込みました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者の入院受け入れのための感染症病床として、年度当初の感染症患者用病床 12 床及び疑似症患者用病床 4 床の確保から、令和 4 年 3 月 31 日現在では感染症患者用病床 26 床及び疑似症患者用病床 1 床に拡大し、受入体制を充実しました。</p>
		<p>・小児科の常勤医師のさらなる増員により、小児科の救急医療や入院医療の体制を整備し、北和小児科二次輪番へ参加します。</p>	<p>・小児科の常勤医師を 1 名増員したことにより、令和 3 年 10 月から北和小児科二次輪番体制へ月 1 回参加しています。</p>

令和3年度 事業報告の補足説明

取組の評価・課題

	R3	R2	増減
実稼働可能病床数	184	170	14
小児科	5	5	0
産婦人科	19	19	0
内科系	75	67	8
外科系	77	71	6
HCU	8	8	0

※各年度、3月31日現在の数値
 ※5階西(コロナ専用病棟)の休止病床を除く。

- 4階西病棟
 小児科・産婦人科・形成外科・一般内科の女性の一般患者を対象とした混合病棟
- 4階東病棟
 整形外科、腎臓泌尿器科、脳神経外科、形成外科、一般内科
- 5階西病棟
 新型コロナウイルス感染症陽性患者専用病棟
- 5階東病棟
 外科、消化器内科、循環器内科、血管外科

	R3	R2	増減
1日平均病床利用率	50.8%	51.3%	△0.5%
1日最大稼働病床数	167床	141床	26床
1日最大稼働病床利用率	79.5%	67.1%	12.4%
月平均新入院患者数	242.8人	225.5人	17.3人
平均在院日数	13.4日	14.5日	△1.1日

※病床利用率は、210床に対する利用率を記載。

(参考) コロナ専用病床の変遷

開始日	陽性稼働病床	休止病床	病棟名	施設基準	疑似病床
R2.4.14	—	—	—	—	5床(5東)
R2.4.27	—	—	—	—	12床(5東)
R2.6.1	—	—	—	—	5床(5東)
R3.1.5	12床	40床	5西	7:1	4床(5西)
R3.4.1	12床	40床	5西	HCU	4床(5西)
R3.5.1	16床	36床	5西	HCU	2床(5西) 2床(4東5東)
R3.8.24	20床	32床	5西	HCU	2床(4東5東)
R3.10.1	20床	32床	5西	HCU	1床(5東)
R4.2.1	24床	28床	5西	HCU	1床(5東)
R4.3.7	26床	26床	5西	7:1	1床(5東)
R4.6.9	20床	32床	5西	HCU	1床(5東)
R4.7.22	26床	26床	5西	7:1	1床(5東)

○新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況に応じて、陽性患者の受入病棟を増床し、積極的に入院受け入れを行うことにより、公立病院として市内におけるコロナ対応の中心的な役割を果たしている。

○小児科常勤医師の増員により、小児二次救急患者を含む小児入院診療体制が整備され、令和3年10月から北和小児科二次輪番体制へ参加することができている。

○脳神経外科常勤医師の確保により、脳卒中患者等の入院受け入れが可能となった。

課題

病床利用率が低い原因は、従来からの整形外科や脳神経外科の常勤医師の不足によることに加え、5階西病棟52床のコロナ専用病棟化による休止病床の発生で実質的に稼働可能病床数が減少したことから、引き続き不足する診療科の常勤医師の確保に努めるとともに、コロナ感染拡大収束後の感染再拡大を含む新たな感染症への体制を確保しつつ、一般の入院診療体制を維持するための体制づくりを検討する必要がある。

病院事業計画(平成27年11月改定)		令和3年度 事業計画		令和3年度 事業報告																																																																																																																																															
人員体制	<p>人員体制については、開院当初は、1日平均想定患者数(外来300名、入院140名と仮定)による医療法規定人員数に基づき、次のとおり整えます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td>25名</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>80名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>6名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td rowspan="3">3名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>6名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>7名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>2名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>29名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>40名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>198名</td></tr> </tbody> </table>	職種	人数	医師	25名	看護師	80名	薬剤師	6名	理学療法士	3名	作業療法士	言語聴覚士	放射線技師	6名	検査技師	7名	栄養士	2名	看護助手	29名	事務職員等	40名	合計	198名	(令和4年3月31日)		(令和4年3月31日)																																																																																																																							
	職種	人数																																																																																																																																																	
	医師	25名																																																																																																																																																	
	看護師	80名																																																																																																																																																	
	薬剤師	6名																																																																																																																																																	
	理学療法士	3名																																																																																																																																																	
	作業療法士																																																																																																																																																		
	言語聴覚士																																																																																																																																																		
	放射線技師	6名																																																																																																																																																	
	検査技師	7名																																																																																																																																																	
栄養士	2名																																																																																																																																																		
看護助手	29名																																																																																																																																																		
事務職員等	40名																																																																																																																																																		
合計	198名																																																																																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>常勤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>25名</td></tr> <tr><td>外来部門</td><td>42名</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>98名</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>3名</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>14名</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>140名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>15名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>12名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>1名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>9名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>10名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>19名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>7名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>54名</td></tr> <tr><td>計</td><td>133名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>298名</td></tr> </tbody> </table>		常勤	内科	3名	消化器内科	1名	循環器内科	2名	外科	3名	脳神経外科	1名	整形外科	1名	形成外科	2名	小児科	3名	腎臓泌尿器科	1名	産婦人科	3名	リハビリテーション科	0名	放射線科	1名	救急科	1名	麻酔科	2名	血管外科	0名	皮膚科	1名	計	25名	外来部門	42名	入院部門	98名	内) 准看護師	3名	内) 助産師	14名	内) 保健師	0名	計	140名	薬剤師	15名	理学療法士	12名	作業療法士	1名	言語聴覚士	3名	放射線技師	9名	検査技師	10名	栄養士	3名	看護助手	19名	臨床工学技士	7名	事務職員等	54名	計	133名	合計	298名		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>常勤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>4名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>22名</td></tr> <tr><td>外来部門</td><td>45名</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>96名</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>2名</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>16名</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>141名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>14名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>11名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>1名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>7名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>12名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>19名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>7名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>54名</td></tr> <tr><td>計</td><td>131名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>294名</td></tr> </tbody> </table>		常勤	内科	1名	消化器内科	1名	循環器内科	2名	外科	3名	脳神経外科	1名	整形外科	0名	形成外科	2名	小児科	3名	腎臓泌尿器科	1名	産婦人科	4名	リハビリテーション科	0名	放射線科	0名	救急科	1名	麻酔科	2名	血管外科	0名	皮膚科	1名	計	22名	外来部門	45名	入院部門	96名	内) 准看護師	2名	内) 助産師	16名	内) 保健師	0名	計	141名	薬剤師	14名	理学療法士	11名	作業療法士	1名	言語聴覚士	3名	放射線技師	7名	検査技師	12名	栄養士	3名	看護助手	19名	臨床工学技士	7名	事務職員等	54名	計	131名	合計	294名
	常勤																																																																																																																																																		
内科	3名																																																																																																																																																		
消化器内科	1名																																																																																																																																																		
循環器内科	2名																																																																																																																																																		
外科	3名																																																																																																																																																		
脳神経外科	1名																																																																																																																																																		
整形外科	1名																																																																																																																																																		
形成外科	2名																																																																																																																																																		
小児科	3名																																																																																																																																																		
腎臓泌尿器科	1名																																																																																																																																																		
産婦人科	3名																																																																																																																																																		
リハビリテーション科	0名																																																																																																																																																		
放射線科	1名																																																																																																																																																		
救急科	1名																																																																																																																																																		
麻酔科	2名																																																																																																																																																		
血管外科	0名																																																																																																																																																		
皮膚科	1名																																																																																																																																																		
計	25名																																																																																																																																																		
外来部門	42名																																																																																																																																																		
入院部門	98名																																																																																																																																																		
内) 准看護師	3名																																																																																																																																																		
内) 助産師	14名																																																																																																																																																		
内) 保健師	0名																																																																																																																																																		
計	140名																																																																																																																																																		
薬剤師	15名																																																																																																																																																		
理学療法士	12名																																																																																																																																																		
作業療法士	1名																																																																																																																																																		
言語聴覚士	3名																																																																																																																																																		
放射線技師	9名																																																																																																																																																		
検査技師	10名																																																																																																																																																		
栄養士	3名																																																																																																																																																		
看護助手	19名																																																																																																																																																		
臨床工学技士	7名																																																																																																																																																		
事務職員等	54名																																																																																																																																																		
計	133名																																																																																																																																																		
合計	298名																																																																																																																																																		
	常勤																																																																																																																																																		
内科	1名																																																																																																																																																		
消化器内科	1名																																																																																																																																																		
循環器内科	2名																																																																																																																																																		
外科	3名																																																																																																																																																		
脳神経外科	1名																																																																																																																																																		
整形外科	0名																																																																																																																																																		
形成外科	2名																																																																																																																																																		
小児科	3名																																																																																																																																																		
腎臓泌尿器科	1名																																																																																																																																																		
産婦人科	4名																																																																																																																																																		
リハビリテーション科	0名																																																																																																																																																		
放射線科	0名																																																																																																																																																		
救急科	1名																																																																																																																																																		
麻酔科	2名																																																																																																																																																		
血管外科	0名																																																																																																																																																		
皮膚科	1名																																																																																																																																																		
計	22名																																																																																																																																																		
外来部門	45名																																																																																																																																																		
入院部門	96名																																																																																																																																																		
内) 准看護師	2名																																																																																																																																																		
内) 助産師	16名																																																																																																																																																		
内) 保健師	0名																																																																																																																																																		
計	141名																																																																																																																																																		
薬剤師	14名																																																																																																																																																		
理学療法士	11名																																																																																																																																																		
作業療法士	1名																																																																																																																																																		
言語聴覚士	3名																																																																																																																																																		
放射線技師	7名																																																																																																																																																		
検査技師	12名																																																																																																																																																		
栄養士	3名																																																																																																																																																		
看護助手	19名																																																																																																																																																		
臨床工学技士	7名																																																																																																																																																		
事務職員等	54名																																																																																																																																																		
計	131名																																																																																																																																																		
合計	294名																																																																																																																																																		
	<p>○医療従事者の確保の方法について (医師の確保) 特に常勤医師が不足している脳神経外科、整形外科を中心に、常勤医師の確保、増員を図ります。 医師事務作業補助者を増員し、医師の業務負担の軽減を図るなど、医師の働き方改革の取組として、引き続き、勤務環境の改善を行います。</p> <p>(看護師、医療スタッフ等の確保) ・引き続き、学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行います。 ・研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に継続して取り組みます。 ・薬剤師の増員により、引き続き、病棟薬剤業務の充実を図ります。 ・7対1の看護基準により、さらなる看護ケアの充実を図ります。</p>		<p>○医療従事者の確保の方法について (医師の確保) 常勤医師に関しては、グループ内転勤により脳神経外科1名、産婦人科1名、勤務希望者の募集により小児科1名、医局人事により形成外科1名が入職しました。 医師事務作業補助者を増員したことにより、医師の業務負担軽減のための勤務環境改善の取組を行いました。</p> <p>(看護師、医療スタッフ等の確保) ・入院部門看護師の増員により、日勤帯のみならず深夜時間帯を含めてさらなる看護ケアの充実を図りました。 ・学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行いました。 ・研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に取り組みました。 ・多職種によるチーム医療を充実させるため、各部門の責任者による運営会議での病院の運営に係る話し合いの他、負担軽減会議において、医師及び看護師の業務負担軽減についても話し合いました。</p>																																																																																																																																																

令和3年度 事業報告の補足説明

取組の評価・課題

	R3		R2		増減	
	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算
内科	1	4.28	3	4.84	△ 2	△ 0.56
消化器内科	1	1.58	1	1.44	0	0.14
循環器内科	2	2.00	2	2.00	0	0.00
外科	3	3.11	3	3.11	0	0.00
脳神経外科	1	1.09	0	0.32	1	0.77
整形外科	0	0.70	0	0.63	0	0.07
形成外科	2	2.67	3	3.15	△ 1	△ 0.48
小児科	3	3.00	2	2.18	1	0.82
腎臓泌尿器科	1	1.79	1	1.78	0	0.01
産婦人科	4	4.40	3	3.73	1	0.67
リハビリテーション科	0	0.00	0	0.00	0	0.00
放射線科	0	0.68	0	0.55	0	0.13
救急科	1	2.51	1	2.69	0	△ 0.18
麻酔科	2	2.00	2	2.00	0	0.00
血管外科	0	0.00	0	0.00	0	0.00
皮膚科	1	1.09	1	1.08	0	0.01
計	22	30.90	22	29.50	0	1.40
外來部門	45	54.82	43	52.01	2	2.81
入院部門	96	103.23	92	98.09	4	5.14
内) 准看護師	2	2.00	3	3.00	△ 1	△ 1.00
内) 助産師	16	17.55	15	16.55	1	1.00
内) 保健師	0	0.00	0	0.00	0	0.00
計	141	158.05	135	150.10	6	7.95
薬剤師	14	14.75	14	14.75	0	0.00
理学療法士	11	11.00	9	9.00	2	2.00
作業療法士	1	1.00	1	1.00	0	0.00
言語聴覚士	3	3.00	3	3.00	0	0.00
放射線技師	7	7.00	9	9.00	△ 2	△ 2.00
検査技師	12	12.00	9	9.00	3	3.00
栄養士	3	3.00	3	3.00	0	0.00
看護助手	19	19.64	16	16.86	3	2.78
臨床工学技士	7	7.00	7	7.00	0	0.00
事務職員等	54	59.07	44	47.75	10	11.32
計	131	137.46	115	120.36	16	17.10
合計	294	326.41	272	299.96	22	26.45

○小児科常勤医師の増員により、小児二次救急患者を含む小児入院診療体制が整備され、令和3年10月から北和小児科二次輪番体制へ参加することができている。

○入院部門の看護師を増員したことにより、新型コロナウイルス感染症患者の受入病棟において、看護師を増員配置し、軽症患者に加え、酸素や抗ウイルス薬の点滴を必要とする中等症の患者への対応ができた。

○検査技師を3名増員したことにより、新型コロナウイルス感染症患者の検査結果を迅速に提供できるなど、検査・治療体制の充実を図ることができた。

○医療従事者の育児休業からの復職支援として時短勤務を導入するなど、出産、育児といったライフステージに応じた就労支援の取組がなされている。

課題

入院医療を充実させるため、引き続き不足する内科、整形外科、放射線科の常勤医師、薬剤師を確保する必要がある。

令和6年度からの働き方改革の適用も視野に、医師事務作業補助者をさらに増員し、コメディカルによるタスクシフトの取組やICTの活用により、医師の業務軽減を推進する必要がある。

※血管外科は循環器内科の医師が兼任している。

<令和4年3月31日現在の非常勤職員数>
医師71名、看護師24名、その他10名

<その他の医師確保の有効な取組>
・産婦人科にてグループ病院の臨床研修病院と契約し、研修医の共同研修を実施

<医師の業務軽減>
・医師事務作業補助者11名(内科系2名、産婦人科1名、形成外科・小児科・皮膚科3名、泌尿器科1名、脳神経外科1名、予約センター1名、フリー2名)

<看護師、医療スタッフ等の確保対策>
・院内保育所の設置 利用スタッフ数 36名 (令和2年度31名)
・看護実習生の受入 865名(令和2年度977名)
・時短勤務 9名(令和2年度7名)
・産休・育休利用 14名(令和2年度11名)
・看護師の研修プログラム、奨学金制度
・コロナ対応スタッフへの特別手当の支給
・入職時研修、新人研修

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 3 年度 事業計画		令和 3 年度 事業報告				
患者数		1 日平均患者数		1 日平均患者数				
			入院	外来		入院	外来 (ワクチン 接種者除く)	外来 (ワクチン 接種者含む)
		4月	125.0人	229.0人	4月	111.1人	211.3人	229.9人
		5月	125.0人	225.0人	5月	112.4人	202.5人	230.7人
		6月	125.0人	227.0人	6月	98.3人	222.0人	282.8人
		7月	130.0人	243.0人	7月	84.6人	217.1人	298.5人
		8月	130.0人	249.0人	8月	103.8人	235.6人	319.3人
		9月	130.0人	244.0人	9月	108.1人	228.9人	308.4人
		10月	137.0人	228.0人	10月	93.3人	235.8人	288.1人
		11月	132.0人	228.0人	11月	85.8人	271.0人	285.5人
		12月	140.0人	243.0人	12月	91.2人	246.1人	259.0人
		1月	140.0人	247.0人	1月	125.4人	247.0人	264.8人
		2月	140.0人	241.0人	2月	118.6人	271.8人	335.7人
		3月	140.0人	251.0人	3月	147.2人	245.5人	288.4人
		年間平均	132.8人	238.0人	平均	106.6人	236.0人	282.2人
		<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組 入院医療に対応できる常勤医師の確保、救急を含む外来診療体制の維持のための非常勤医師の確保、地域医療機関との病病・病診連携の推進及び救急患者の確実な受け入れのほか、積極的に広報活動や医療講演会を実施することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。 新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き、帰国者・接触者外来及び発熱外来を実施します。また、市民へのワクチン接種も実施します。</p>		<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組 入院医療に対応できる脳神経外科の常勤医師を確保し、救急を含む外来診療体制の維持のため、非常勤医師を確保しました。 また、コロナ禍においても救急患者を積極的に受け入れ、地域医療機関との病病・病診連携を推進し、さらに、広報活動やオンラインによる医療講演会を実施し、入院、外来患者数の増加を目指しました。 新型コロナウイルス感染症対策として、発熱外来(帰国者・接触者外来)の実施とワクチン接種を行いました。</p> <p>※ワクチン接種者数(延べ人数) 令和3年4月～令和4年3月 ：合計 16,884 人 1 日平均接種者数 : 46.3 人</p>				
		<p>(市民への周知の取組) ・院内の広報委員会による広報活動の強化 ・ホームページ、LINE 公式アカウント、病院だより等による広報活動の推進 ・医療講演会(自治会等各種団体への出張講座含む)の推進</p>		<p>(市民への周知の取組) ・広報委員によるホームページ、LINE 公式アカウント等のチェック、随時更新の実施 LINE 公式アカウント登録者数 1,084 人(令和4年3月31日現在) <LINE 公式アカウントの掲載例> ・オンライン医療講演のお知らせ ・オンライン母親教室開催のお知らせ</p> <p>・病院だより発刊 (令和元年8月以降、毎月600部発刊) ・医療講演会(オンライン) 40 講座 参加者 736 名</p>				
		<p>(地域の医療機関への周知の取組) ・地域医療連携室による地域の医療機関への積極的な情報提供を推進します。</p> <p>・病診連携懇話会を開催し、症例検討会や市立病院の医療連携実績の報告など地域の開業医との「顔の見える関係性」を構築します。</p>		<p>(地域の医療機関への周知の取組) ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 2,143 件、263 施設 (令和2年度 3,024 件、258 施設) ・低侵襲治療講演会 ・心不全・弁膜症の低侵襲治療講演会 6/17 49 名参加 (内オンライン 30 名) ・新生児蘇生法講習会(NCPR) 10/9 12 名参加 ・病診連携懇話会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p>				

令和3年度 事業報告の補足説明

取組の評価・課題

<入院>

(注1)

	R3		R2		増減	
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均
内科	5,122	14.0	6,450	17.7	△ 1,328	△ 3.7
消化器内科	1,639	4.5	1,269	3.5	370	1.0
循環器内科	7,815	21.4	11,263	30.9	△ 3,448	△ 9.5
外科	14,428	39.5	9,916	27.2	4,512	12.3
内)コロナ陽性者除く	11,016	30.2	9,344	25.6	1,672	4.6
脳神経外科	795	2.2	0	0.0	795	2.2
整形外科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
形成外科	5,605	15.4	6,944	19.0	△ 1,339	△ 3.6
小児科	265	0.7	273	0.7	△ 8	0.0
腎臓泌尿器科	1,755	4.8	1,249	3.4	506	1.4
産婦人科	1,428	3.9	1,781	4.9	△ 353	△ 1.0
血管外科	68	0.2	183	0.5	△ 115	△ 0.3
計	38,920	106.6	39,328	107.7	△ 408	△ 1.1
内)コロナ陽性者除く	35,508	97.3	38,756	106.2	△ 3,248	△ 8.9

※脳神経外科は令和3年6月からの実績

<外来>

(注1)

	R3		R2		増減	
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均
内科	28,775	78.8	18,415	50.5	10,360	28.3
内)ワクチン接種者除く	24,206	66.3	18,415	50.5	5,791	15.8
消化器内科	1,965	5.4	1,477	4.0	488	1.4
循環器内科	5,635	15.4	5,592	15.3	43	0.1
外科	8,385	23.0	7,189	19.7	1,196	3.3
脳神経外科	1,417	3.9	832	2.3	585	1.6
内)ワクチン接種者除く	1,407	3.9	832	2.3	575	1.6
整形外科	4,983	13.7	4,839	13.3	144	0.4
形成外科	10,692	29.3	9,839	27.0	853	2.3
小児科	14,376	39.4	2,153	5.9	12,223	33.5
内)ワクチン接種者除く	2,071	5.7	2,153	5.9	△ 82	△ 0.2
腎臓泌尿器科	6,137	16.8	5,140	14.1	997	2.7
産婦人科	6,286	17.2	5,357	14.7	929	2.5
放射線科	598	1.6	567	1.6	31	0.0
麻酔科	161	0.4	65	0.2	96	0.2
血管外科	195	0.5	347	1.0	△ 152	△ 0.5
皮膚科	5,179	14.2	3,866	10.6	1,313	3.6
透析	3,727	10.2	3,864	10.6	△ 137	△ 0.4
健診科・ドック	4,500	12.3	4,009	11.0	491	1.3
計	103,011	282.2	73,551	201.5	29,460	80.7
内)ワクチン接種者除く	86,127	236.0	73,551	201.5	12,576	34.5

- ・ 令和3年度受入患者数
 疑似症患者数 68人(令和2年度271人)
 陽性患者数 3,412人(令和2年度572人)

- ・ 令和3年度検査件数
 PCR検査数 7,607件(令和2年度3,352件)
 抗原検査数 6,973件(令和2年度1,540件)

○感染拡大防止対策として面会禁止が継続されている状況において、お見舞いメールやオンライン面会ができる体制が整っている。

○令和3年1月に、外科の常勤医師を1名増員したことにより、患者のニーズに応じた低侵襲手術など幅広い症例に対応することが可能となり、患者数の増加につながっている。

○保育園・小学校等でコロナ陽性者を認めたときに、保健所の要請にて濃厚接触児に対し小児科医師によるドライブスルー方式の集団PCRスクリーニング検査を実施できている。

○院内配置のデジタルサイネージ(電子掲示板)やLINE公式アカウント、病院だよりなど様々な方法で、市立病院の提供する医療サービスや実績などの必要な最新情報を患者や市民に迅速にわかりやすく発信している。

○平日午後院内の特設会場にて、一日最大120件規模のワクチン個別接種を実施できている。

課題

患者数の増加を目指し、特に、内科、小児科では、専門外来の設置などそれぞれ診療領域を広げていくこと、また、整形外科、脳神経外科では、常勤医師を確保することで外傷などに対応できる体制を整備する必要がある。

小児科の常勤医師を増員したにもかかわらず、小児科の入院及び外来患者数が伸びていないため、小児科医師が市内の小児科診療所を訪問し、顔の見える関係性を構築するとともにLINE公式アカウント等様々な広報手段を活用しながら、医療体制等、より一層市民へのPRを強化する必要がある。

(注1)

〈入院〉〈外来〉表中の患者数の1日平均については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と内訳の計が一致しない場合があります。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 事業報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。</p>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとってベストな治療・ケアを行います。</p> <p>DPC 対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図ります。</p> <p>引き続き、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みます。</p> <p>患者アンケートやご意見箱の内容を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。</p> <p>○医療サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術件数（全体）1,360 件 <ul style="list-style-type: none"> 外科 390 件 形成外科 690 件 腎臓泌尿器科 90 件 産婦人科 190 件 ・分娩件数 160 件 ・産科交流会 母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。 ・市の産後ケア事業への参加を継続します。 ・医療機器等の整備 必要性、採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行います。 <p>(導入予定機器)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超音波診断装置 Aplio ・セントラルモニタ CNS-6201 ・ベッドサイドモニタ PVM-4761 	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、入院診療計画策定時から多職種が参加して最適な治療方法を策定するなど、チーム医療を実施しました。</p> <p>DPC 対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図りました。</p> <p>腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術、ダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。</p> <p>また、患者の意見を可能な限り尊重したうえで、患者の思いに寄り添った医療サービスの提供を目指しました。</p> <p>○医療サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術件数（全体）1,253 件 <ul style="list-style-type: none"> 外科 335 件 形成外科 680 件 腎臓泌尿器科 110 件 産婦人科 103 件 血管外科 20 件 皮膚科 2 件 放射線科 3 件 ・分娩件数 164 件 ・オンライン母親教室開催 院内健診を受けている妊婦を対象に新生児ケアについて月 2 回オンラインで開催 参加者数（延べ人数）136 人 ・産科交流会（オンライン） 12/16 実施 参加者 37 名 ・市の産後ケア事業へ参加しました。 サポート人数 3 人 (院内において出産直後にショートステイを利用) ・医療機器等の整備 新型コロナウイルス感染症陽性患者等への対応のため、高度医療機器の整備を行いました。 <p>(導入機器)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超音波診断装置 Aplio ・内視鏡手術システム ・等温遺伝子増幅装置増設 ・全自動化学発光酵素免疫測定システム ルミパルス G600 II ・セントラルモニタ CNS-6201 ・ベッドサイドモニタ PVM-4761 2 台

令和3年度 事業報告の補足説明

取組の評価・課題

<科目別手術件数>

	R3	R2	増減
外科	335	318	17
形成外科	680	772	△ 92
腎臓泌尿器科	110	92	18
産婦人科	103	146	△ 43
放射線科	3	4	△ 1
血管外科	20	32	△ 12
皮膚科	2	1	1
合計	1,253	1,365	△ 112

・上記以外の件数

心臓カテーテル件数：142件、PCI：85件、内視鏡的手術：286件

(令和2年度：心臓カテーテル：119件、PCI：67件、内視鏡的手術：235件)

・主な外科手術例

乳腺悪性腫瘍手術、胸腔鏡下胆嚢摘出術など

・主な形成外科手術例

皮膚・皮下腫瘍摘出術、難治性潰瘍手術など

・主な産婦人科手術例

卵巣部分切除術、緊急帝王切開術など

・主な腎臓泌尿器科手術例

経尿道的前立腺手術、膀胱悪性腫瘍手術など

<腹腔鏡下手術> (胸腔鏡下手術を含む)

	R3	R2	増減
件数	164	74	90

<ダ・ヴィンチ手術>

	R3	R2	増減
件数	8	11	△ 3

※対応症例は、前立腺がん

<分娩件数>

		R3	R2	増減
県内	市内	99	98	1
	市外	36	24	12
	計	135	122	13
県外		29	42	△ 13
合計		164	164	0

<助産制度の実績>

	R3	R2	増減
件数	2	1	1

※市立病院は、児童福祉法第36条に規定する助産施設

・ハイリスク分娩への対応は、奈良県総合医療センターと連携を取っています。(件数：3件)

<DPC 病院>

平成30年4月にDPC準備病院の届出をし、令和2年4月からDPC対象病院となりました。

<ジェネリック医薬品>

使用率： 84.3% (グループ全体使用率： 83.4%)

○市の産後ケア事業に参加することで、産後の授乳指導・育児相談や母子のケア等を行い、母親の育児等を支援した。

○令和3年1月に、外科の常勤医師を1名増員したことにより、手術件数が増加した。また、患者のニーズに応じて胆嚢摘出術、虫垂切除術、ヘルニア手術など、身体的負荷が比較的軽い低侵襲な腹腔鏡下手術を行った。

○リスクある分娩は、小児科医立ち合いのもと分娩を行っている。

○抗原定性検査迅速キットや遺伝子解析機器等を導入・増設し、自院で抗原定性検査、抗原定量検査、PCR検査ができ、迅速な検査結果と検査数の拡充が図れている。

課題

腹腔鏡下手術の件数が増加傾向にあるが、今後もさらに患者への身体的負担が少ない低侵襲手術を推進する必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 事業報告
	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制</p> <p>がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実を図ります。</p> <p>脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実を図ります。</p> <p>急性心筋梗塞 奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制の充実を図ります。</p> <p>糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の充実を図ります。</p> <p>○患者満足度の向上について ・入院・外来患者アンケート調査の実施 1 階において、待ち時間が短縮できるように、引き続き案内係を配置し、窓口業務が円滑に行えるよう努めます。</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 アンケート調査結果やご意見箱の意見などについて、ホームページ・病院だより等で公表し、市立病院管理運営協議会へ報告します。</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 新人職員を対象とした接遇研修をはじめ院内スタッフ対象の接遇研修を充実します。</p> <p>・院内における接遇委員会を定期的開催し、接遇の向上を図ります。</p>	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制</p> <p>がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制を確保しています。</p> <p>脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制を確保しています。</p> <p>急性心筋梗塞 奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制を確保しています。</p> <p>糖尿病 内科、循環器内科、形成外科及び血管外科において、かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施しています。</p> <p>○患者満足度の向上について ・グループ全体で、令和 3 年度入院・外来患者アンケート調査を 10 月、11 月に実施 ・令和 3 年 8 月から、1 階において、案内係を増員し、窓口案内を円滑に実施し、患者を迅速に誘導できるよう努めました。</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。</p> <p>令和 3 年度ご意見箱意見総数 入院 10 件、外来 9 件 合計 19 件</p> <p>・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。（回答総数 632 件）</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 4/2 新入職員向け接遇研修 朝礼において、職員対象に接遇向上の周知</p> <p>・院内における接遇委員会を月 1 回開催（看護部では月 1 回服装チェックなどを実施）</p> <p>・1 年次生の事務・コメディカル・救急救命士を対象とした他部署研修を実施</p>

令和3年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題												
<p>○主要疾病（4 疾病）に係る医療体制 <がん> ・手術件数：令和3年度 143 件（令和2年度 129 件）</p> <p>・がん患者の治療により生じる合併症や機能障害に対する早期回復等を図る取組として、医師、看護師、リハビリスタッフ（3 名）によるがんリハビリテーションを実施しています。</p> <p>がん登録件数：R3 313 件 R2 181 件</p> <p>・他病院との連携実績 近畿大学奈良病院 53 件、奈良県総合医療センター 17 件（令和2年度：近畿大学奈良病院 25 件、奈良県総合医療センター 8 件）</p> <p><脳卒中> ・他病院との連携実績 近畿大学奈良病院 4 件、奈良県総合医療センター8 件、市立奈良病院 1 件、野崎徳洲会病院 10 件、石切生喜病院 14 件（令和2年度：近畿大学奈良病院 7 件、奈良県総合医療センター7 件、市立奈良病院 2 件、野崎徳洲会病院 16 件）</p> <p><急性心筋梗塞> ・心臓カテーテル検査 142 件、PCI 85 件（令和2年度：心臓カテーテル検査 119 件、PCI 67 件） ・手術が必要などきの奈良県総合医療センターとの連携緊急入院 0 件（令和2年度：1 件）</p> <p><入院・外来アンケート調査> 患者満足度（総合評価の評点）</p> <table border="1" data-bbox="178 1043 568 1173"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今回</td> <td>91.8</td> <td>88.5</td> </tr> <tr> <td>前回</td> <td>90.8</td> <td>86.8</td> </tr> <tr> <td>GP全体</td> <td>85.9</td> <td>85.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>（主なアンケート分析結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者満足度が高く、総合評価への影響が大きい項目 <入院・外来> 医師及び看護師の対応で、患者の不安や要望への傾聴や患者が理解できるような説明など患者への配慮 ・患者満足度が低く、総合評価への影響が大きい項目 <入院> 食事の満足度、薬の副作用の説明、退院の服薬指導 <外来> プライバシーの配慮、売店や駐車場に関する満足度 <p>（アンケート調査結果は、生駒市立病院ホームページ参照）</p> <p><ご意見箱の主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院の際、強制的に PCR 検査をされた。 （回答：PCR 検査に関しては院内感染予防等必要性について説明を尽くし、納得していただいた。） ・中庭に出ようとしたら、ドアの重みとストッパーが効かず出られなかったので、ドアの改善をしてほしい。 （回答：対応済） ・外来で、名前ではなく番号で呼ばれることに、非常に抵抗がある。 （回答：個人情報保護の取扱いにより、番号での案内となっている。） ・出産を控え産院より、PCR 検査を受け陰性結果でないと受け入れできないと言われ、PCR 検査を受診。大変不安になっていたが、迅速に丁寧にご対応いただいてスタッフの皆様へ感謝している。 		入院	外来	今回	91.8	88.5	前回	90.8	86.8	GP全体	85.9	85.9	<p>○放射線治療によるがん治療は、地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）との連携により行われている。</p> <p>○脳卒中については、近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター、市立奈良病院及び野崎徳洲会病院等と連携し、早期に治療できる体制を確保している。</p> <p>○急性心筋梗塞については、内科的治療（PCI）は行えており、外科的治療が必要などきは、奈良県総合医療センターの心臓血管外科との連携体制を整えている。</p> <p>○糖尿病については、かかりつけ医との連携のもと、慢性合併症等の治療を実施している。</p> <p>○「入院・外来アンケート調査」では、患者満足度が高く、総合評価への影響が大きい項目として、医師及び看護師の患者への配慮が上位に上がっている。</p> <p>課題 「入院・外来アンケート調査」において、患者満足度が低く、総合評価への影響が大きい項目については、今後、優先的に改善に取り組む必要がある。</p>
	入院	外来											
今回	91.8	88.5											
前回	90.8	86.8											
GP全体	85.9	85.9											

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 事業報告
<p>医療における安全管理に対する取組</p> <p>●安全管理マニュアルの策定について</p> <p>各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。</p> <p>●医療事故に対する対応について</p> <p>発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM(メディカルリスクマネジメント)委員会で分析したうえ、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行いません。</p> <p>●院内感染対策について</p> <p>感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理(予防接種等)、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行いません。</p>	<p>(医療安全管理体制について)</p> <p>市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。また、医療安全に関する情報公開の方法等については、病院年報において、インシデント・アクシデントの包括的公表を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会(毎月1回開催) ・医療安全カンファレンス(毎週1回開催) ・医療安全勉強会(年2回開催) <p>(医療事故に対する対応について)</p> <p>医療事故発生時は、引き続き、次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の安全確保と救命処置を最優先します。 ・病院内における事故等の報告を速やかに行います。 ・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。 ・重大な医療事故の場合は、保健所等関係機関へ速やかに報告・届出を行います。 ・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。 <p>(院内感染対策について)</p> <p>院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会(毎月1回開催) ・ICT合同カンファレンス(偶数月参加) ・ICTラウンド(毎週1回開催) ・感染勉強会(年2回開催) ・院内感染対策に係る地域医療連携(合同カンファレンス 年2回参加) <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策用として、マスク・消毒液等計画的に備蓄を行います。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、引き続き、奈良県や市、医師会をはじめとする関係機関と情報交換しながら、PCR検査体制、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入体制及びワクチン接種体制など、目まぐるしく変化する新型コロナウイルス感染症の状況に臨機応変に対応します。 	<p>(医療安全管理体制について)</p> <p>市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修を実施しました。</p> <p>さらに、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会、医療安全カンファレンスについて計画どおり実施しました。 ・医療安全勉強会 7/28 126名 7/29 93名 7/30 94名 下半期はe-ラーニング 293名 合計 606名参加 <p>(医療事故に対する対応について)</p> <p>医療事故発生時に備えて、日常から迅速・的確に対応できるよう体制整備に努めています。</p> <p>(院内感染対策について)</p> <p>院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会、ICTラウンドについて計画どおり実施しました。 ・感染勉強会 7/28 126名 7/29 93名 7/30 94名 下半期はe-ラーニング 298名 合計 611名参加 ・ICT合同カンファレンス・院内感染対策に係る地域医療連携 6/22、9/14、12/7、2/8 (ZOOMにて開催) <p>(新型コロナウイルス感染症対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策用として、計画的にマスク・消毒液等の備蓄を行いました。 備蓄数(令和4年3月31日現在) マスク 7,700枚 消毒液 250ml 69個等 ・非常勤医師等を含む全職員への院内感染対策を徹底しました。(常時マスク着用の徹底、PCR検体採取時のマスク、ゴーグル、ガウン等个人防护具の装着の徹底) ・新型コロナウイルス感染症に係る院内クラスターの発生について 期間(令和4年1月21日~2月27日) 感染者数(職員22人・患者20人)

令和3年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題
<p><医療安全勉強会の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/28、29、30 開催 テーマ：「アウトレットの取扱と点検」 ・e-ラーニング 11/1～11/30 開催 テーマ： 「今改めて考える医療安全」 「患者家族とのよい関係を築くコミュニケーション」 <p><感染勉強会の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/28、29、30 開催 テーマ： 「COVID-19 の治療について」 「COVID-19 検査法及び結果の考え方」 ・e-ラーニング 11/1～11/30 開催 テーマ：「手指衛生について」 <p><新型コロナウイルス感染症対策会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県新型コロナウイルス感染症に関する連絡会へ 27 回参加 ・院長等 3 役中心のコロナ対策会議を 27 回開催 <p><新型コロナウイルス感染症対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレハブを含む屋外での発熱外来 ・面会制限 ・来院者の検温確認 ・お見舞いメールの運用：201 件 ・オンライン面会：278 件 ・オンライン診療（形成外科）：16 件 ・オンライン母親教室：136 件 <p><クラスター発生要因の評価></p> <p>日常生活の中で感染経路がわからない感染が起きている「市中感染」の状況下、医療従事者による院外からの持ち込みの可能性もあり、ラインリストやスクリーニング検査を強化・拡大する必要がある。</p> <p><クラスター後の実践している改善策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・PPE の脱着訓練の実施。 ・一般病棟で院内感染が発生した場合は、一定期間 N95 マスクの装着の義務付け。 ・病棟の休憩室で食事をとる場合も黙食等、休憩室や更衣室における感染予防策を徹底する。 ・職員で症状がある場合は、就業前にコロナ抗原定量検査を実施し陰性確認を行う。 	<p>○院内感染対策に係る地域医療連携として、奈良県総合医療センターを中心とする合同カンファレンスに ZOOM により参加し、市内等病院間の相互理解や情報共有を行うことで、地域医療連携を強化している。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、院内の動線を明確に区分するとともに、エレベーターなど区分できない所も、使用時間を分けるなど院内感染対策が十分に行われている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症疑似症患者を診療する際には、屋外のプレハブを使用するなど、感染管理を徹底している。</p> <p>○抜き打ちで手の汚れを検査するなど、院内感染対策委員会が活発に活動している。</p> <p>○医療安全管理委員会や医療安全カンファレンス、勉強会などが計画通りに行われており、医療安全に関する体制が整備され、事故防止に向けた継続的な改善活動が行われている。</p> <p>○クラスター事案の発生後、発生要因等を検証し、院内感染防止体制を見直し、強化されている。</p> <p>課題 今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、引き続き、奈良県をはじめとする関係機関と情報交換しながら、院内における感染管理をより一層徹底する必要がある。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 事業報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与 地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。</p> <p>地域医療の支援に対する取組 ●在宅支援機能の充実 地域連携パスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行いません。 また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪時に対応する処置、入院加療用として 5 床を確保します。</p> <p>●開放型病床の設置 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。</p> <p>●地域医療機関への医療教育プログラムの提供 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施 ・院内外の医療従事者に対する TCLS 又は AHABLS、AHAACLS トレーニング (ACLS に相当する指定管理者のプログラム) の継続的实施 (2 年に 1 回程度) ・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施 (年 2 回程度)</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献します。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。 地域医療連携室において、引き続き、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携を推進します。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進します。</p> <p>・医療教育プログラム 新生児蘇生法講習会 (NCPR)、周産期救急講習会 (ALS0) への参加</p> <p>・病診連携懇話会を開催します。</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に努めました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行いました。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図りました。 地域医療連携室において、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携に努めました。</p> <p>(令和 4 年 3 月 31 日現在) ・医療連携登録医 68 施設・83 名 ・協力医療機関連携施設 64 施設</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について ・心不全・弁膜症の低侵襲治療講演会 6/17 49 名参加 (内オンライン 30 名) ・新生児蘇生法講習会 (NCPR) 10/9 12 名参加 ・周産期救急講習会 (ALS0) は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。 ・病診連携懇話会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p>

令和3年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題																				
<p><医療連携登録医> 医療連携登録医からの紹介件数：1,063件（市内 650件、市外 413件） （令和2年度：医療連携登録医からの紹介件数：966件（市内 607件、市外 359件））</p> <p><協力医療機関連携施設> 協力医療機関連携施設からの患者の救急車による搬送件数：41件</p> <p><入退院支援チーム> 市立病院の医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーにより、患者の退院の計画を作成しています。</p> <p>入退院支援チームの実績</p> <table border="1" data-bbox="150 638 791 815"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入退院支援加算</td> <td>2,016件</td> <td>1,505件</td> <td>511件</td> </tr> <tr> <td>介護支援連携指導</td> <td>142件</td> <td>221件</td> <td>△79件</td> </tr> <tr> <td>退院時共同加算</td> <td>37件</td> <td>39件</td> <td>△2件</td> </tr> <tr> <td>退院時訪問指導料</td> <td>6件</td> <td>13件</td> <td>△7件</td> </tr> </tbody> </table>		R3	R2	増減	入退院支援加算	2,016件	1,505件	511件	介護支援連携指導	142件	221件	△79件	退院時共同加算	37件	39件	△2件	退院時訪問指導料	6件	13件	△7件	<p>○医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーによる入退院支援チームの活動や入退院調整マニュアルの積極的な活用により、入退院支援加算件数が増加しており、退院後も切れ目のないケアを提供できている。</p> <p>○地域の医療機関への医療教育プログラムを提供し、地域の医療従事者の知識や技術の向上を支援している。</p> <p>○地域医療連携室にて、紹介元の診療所の医師が患者の電子カルテを閲覧できるようにするなど、患者の状況や診療情報を共有できる取組が推進されている。</p> <p>課題 今後は、コロナ禍で開催できていなかった病診連携懇話会を開催し、医療連携登録医をはじめ市内の診療所の先生方に参加いただき、情報共有や意見交換の場を提供していく。</p>
	R3	R2	増減																		
入退院支援加算	2,016件	1,505件	511件																		
介護支援連携指導	142件	221件	△79件																		
退院時共同加算	37件	39件	△2件																		
退院時訪問指導料	6件	13件	△7件																		

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 事業報告
<p>●周辺の他の医療機関との連携 新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放型病床の取組を進めます。 また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。 また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。</p> <p>●地域医療連携推進のための組織・体制及び方法の整備 院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。 この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等提供を行ないます。 また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への外来予定表、当直予定表等の情報提供を積極的に行い、医師会への入会を目指します。また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、引き続きMRI、CT、内視鏡及びエコーの共同利用を推進し、マンモグラフィ及び高気圧酸素治療装置等の医療機器の共同利用も推進します。</p> <p>市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、「顔の見える関係性」を深めるとともに、会議の場において、積極的に情報提供をします。</p> <p>・共同利用件数（年間） MRI 150 件 CT 100 件 内視鏡 5 件 エコー 15 件</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、積極的にPRします。</p> <p>（令和 4 年 3 月 31 日現在） ・医療連携登録医 70 施設 ・協力医療機関連携施設 65 施設</p> <p>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、さらなる紹介率及び逆紹介率の向上を目指し、紹介された患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域の診療所に逆紹介します。</p> <p>・紹介率 38% ・逆紹介率 20%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員（看護師 1 名・メディカルソーシャルワーカー 3 名・事務職員 2 名）を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進します。 専任職員が地元医療機関を積極的に訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行います。 やまと西和ネットの活用により、同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携を強化するとともに、来院患者への同ネット参加を呼び掛けます。 市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図ります。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、毎月、市立病院の医療機能等の情報提供を続けました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器の共同利用を実施しました。</p> <p>市が開催する市内等医療機関との意見交換会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p> <p>・医療機器の共同利用件数 MRI 258 件（全利用件数 2,432 件） CT 127 件（全利用件数 7,815 件） 内視鏡 26 件（全利用件数 2,312 件） エコー 23 件（全利用件数 4,293 件）</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問し、登録のメリットを積極的にPRしました。</p> <p>（令和 4 年 3 月 31 日現在） ・医療連携登録医 68 施設・83 名 ・協力医療機関連携施設 64 施設 ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 2,143 件、263 施設 （令和 2 年度 3,024 件、258 施設）</p> <p>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、紹介された患者の受け入れに努めました。 また、病状の安定した患者の逆紹介を促進するため、紹介を受けた患者については紹介元へ逆紹介することに加え、紹介を受けていない患者についても、地域医療連携室を通して、患者と相談しながら、患者の住居の周辺の医療機関などへの逆紹介に努めました。</p> <p>・紹介率 24.9% ・逆紹介率 13.6%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進しました。 地域医療連携室の専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行いました。</p> <p>やまと西和ネットに参加し、同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携に努めました。</p> <p>生駒市医療介護連携ネットワーク協議会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により開催せず。 在宅医療介護推進部会は、地域医療連携室の職員が部会員として参加。</p>

令和3年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題																																																				
<p>・3/29 生駒地区医師会への入会申請を提出（現在、医師会にて審査中）</p> <p><医療機器の共同利用></p> <table border="1" data-bbox="164 338 724 501"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MRI</td> <td>258</td> <td>164</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>CT</td> <td>127</td> <td>96</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>内視鏡</td> <td>26</td> <td>6</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>エコー</td> <td>23</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p><医療連携登録医></p> <table border="1" data-bbox="164 553 724 627"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>68</td> <td>67</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>・68施設の内、市内診療所は28施設・34名 ・全市内診療所（89施設）の31.5%</p> <p><協力医療機関連携施設></p> <table border="1" data-bbox="164 775 724 848"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>64</td> <td>63</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p><紹介率・逆紹介率等></p> <table border="1" data-bbox="164 907 799 1075"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>24.9</td> <td>32.7</td> <td>△7.8</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>13.6</td> <td>14.8</td> <td>△1.2</td> </tr> <tr> <td>地域(市内)医療機関の市立病院利用率</td> <td>85.4</td> <td>83.1</td> <td>2.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・紹介率 $(2,862+2,015) \div 19,559 = 24.9\%$</p> <p>・逆紹介率 逆紹介患者数÷初診患者数 $2,662 \div 19,559 = 13.6\%$ (参考:紹介元の医療機関に返した入院患者数÷紹介による入院患者数) $227 \div 459 = 49.5\%$</p> <p>・地域(市内)医療機関の市立病院利用率 市内で紹介を受けた内科医療機関数÷市内内科医療機関数 $76 \div 89 = 85.4\%$</p> <p><やまと西和ネット></p> <p>・西和医療圏（生駒市他1市7町の医療機関、介護事業所を利用される方の病気、薬などの情報を共有 参考：令和4年3月31日現在 参加施設数 48施設</p> <p><在宅医療介護推進部会></p> <p>1/26 コロナ禍における医療・介護現場での状況について意見交換等</p>		R3	R2	増減	MRI	258	164	94	CT	127	96	31	内視鏡	26	6	20	エコー	23	12	11		R3	R2	増減	施設数	68	67	1		R3	R2	増減	施設数	64	63	1		R3	R2	増減	紹介率	24.9	32.7	△7.8	逆紹介率	13.6	14.8	△1.2	地域(市内)医療機関の市立病院利用率	85.4	83.1	2.3	<p>○地域医療連携室の職員が地域の医療機関を毎月訪問し、診療内容等の周知の取り組みが強化されていることにより、MRIやCTの利用件数が増加するなど、地域医療連携の推進につながっている。</p> <p>○患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告等が徹底されている。</p> <p>課題 地域医療の課題を共有し、また、市内の医師との顔の見える関係を構築することで、さらにスムーズな地域医療連携ができるよう、医師会への入会を目指します。</p>
	R3	R2	増減																																																		
MRI	258	164	94																																																		
CT	127	96	31																																																		
内視鏡	26	6	20																																																		
エコー	23	12	11																																																		
	R3	R2	増減																																																		
施設数	68	67	1																																																		
	R3	R2	増減																																																		
施設数	64	63	1																																																		
	R3	R2	増減																																																		
紹介率	24.9	32.7	△7.8																																																		
逆紹介率	13.6	14.8	△1.2																																																		
地域(市内)医療機関の市立病院利用率	85.4	83.1	2.3																																																		

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 事業報告																		
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。</p> <p>●救急医療体制 市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ当直体制を開示し、24 時間体制での救急受け入れをします。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="108 817 499 1485"> <thead> <tr> <th>診療分野</th> <th>稼働内容</th> <th>稼働回数 (1月あたり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科系</td> <td rowspan="2">市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加</td> <td>内科系 5 回</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td>外科系 5 回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小児科</td> <td rowspan="2">奈良県北和小児科二次輪番体制への参加</td> <td>休日 2 回</td> </tr> <tr> <td>夜間 2 回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)</td> <td>10 回 (※1)</td> </tr> <tr> <td>産婦人科(※2)</td> <td>奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加</td> <td>10 回</td> </tr> </tbody> </table>	診療分野	稼働内容	稼働回数 (1月あたり)	内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5 回	外科系	外科系 5 回	小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2 回	夜間 2 回		休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10 回 (※1)	産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10 回	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受入体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。</p> <p>奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施します。</p> <p>また、新型コロナウイルス疑似症患者の救急受入をします。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 1,700 件 救急応需率 95.0 % <p>・市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、救急医療の連携強化を目指します。</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たします。</p> <p>・奈良県と情報交換をしながら、小児二次医療体制の整備に努め、北和小児科二次輪番へ参加します。</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制を整備します。</p>	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受入体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に努めました。</p> <p>奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施しました。</p> <p>また、新型コロナウイルス疑似症患者等の救急受入をしました。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 2,015 件 (市内 1,047 件、市外 968 件) 救急応需率 88.5 % <p>・市が開催する市内等医療機関との意見交換会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たしました。</p> <p>・北和小児科二次輪番体制へ令和 3 年 10 月から参加しました。(月 1 回)</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制を整備しています。</p>
診療分野	稼働内容	稼働回数 (1月あたり)																		
内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5 回																		
外科系		外科系 5 回																		
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2 回																		
		夜間 2 回																		
	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10 回 (※1)																		
産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10 回																		
<p>(※1)現在、休日夜間応急診療所(メディカルセンター)で小児科医師が当直している火・木・土・日(うち火・木は 22:00~24:00 の当直)以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は 20 時から 24 時までは総合診療医を配置します。</p> <p>ただし、開院後 3 年を目途に小児科医師を 1 名増員することで小児救急の充実を図ります。</p> <p>(※2)産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合は NICU を有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。</p>																				

令和3年度 事業報告の補足説明

取組の評価・課題

<救急要請件数>

	R3	R2	増減
件数	2,277	1,920	357

<救急受入件数>

	R3	R2	増減
市内	1,047	1,050	△3
市外	968	718	250
計	2,015	1,768	247

<救急応需率>

	R3	R2	増減
救急受入件数÷救急要請件数	88.5%	92.1%	△3.6%

<ワークイン患者受入件数>

	R3	R2	増減
件数	3,483	3,346	137
月平均	290.3	278.8	11.5

<救急患者の転送件数>

	R3	R2	増減
受入件数	2,015	1,768	247
県内転送	57	83	△26
県外転送	37	31	6
転送計	94	114	△20

<救急患者の転送率>

	R3	R2	増減
県内転送	2.8%	4.7%	△1.9%
県外転送	1.8%	1.8%	0.0%
転送計	4.6%	6.5%	△1.9%

※表中の％は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と内訳の計が一致しない場合があります。

<参考：生駒市消防の救急搬送状況（全時間帯）>※

	R3	R2	増減
市内	68.1%	70.3%	△2.2%
市立病院	23.1%	25.0%	△1.9%
その他病院	45.0%	45.3%	△0.3%

<参考：生駒市消防の救急搬送状況（当直時間帯）>※

	R3	R2	増減
市内	65.8%	66.0%	△0.2%
市立病院	26.4%	27.9%	△1.5%
その他病院	39.4%	38.1%	1.3%

※市消防本部提供、速報値

<市内等輪番病院のバックアップ状況>

	R3	R2	増減
バックアップ率	41%	46%	△5%

計算式 A÷B

A 生駒市立病院が受け入れた件数

B 救急患者を市内等輪番病院が当日に受け入れできなかった件数

(令和3年度：94件÷232件、令和2年度：102件÷224件)

○コロナ禍においても、24時間365日救急患者の受入体制を整え、発熱患者を断らない方針のもと、救急応需率は高い数値を維持し、地域の救急医療に対しての貢献ができています。

○小児科常勤医師の増員により、小児二次救急患者を含む小児入院診療体制が整備され、令和3年10月から北和小児科二次輪番体制へ参加することができている。

課題

市内の二次救急医療体制で中心的な役割を果たすために、市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップなどの充実をより一層図る必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 事業報告										
<p>●救急に対する人員体制 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとります。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="103 421 464 929"> <thead> <tr> <th></th> <th>人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>内科系・外科系 医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td> </tr> <tr> <td>北和小児科 二次輪番日</td> <td>通常時当直体制 + 小児科医師 1 名の当直</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応 急診療所の バックアップ(小児科) 担当日</td> <td>通常時当直体制 + 総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人 科一次救急 当番日</td> <td>通常時当直体制 + 産婦人科医 1 名の当直</td> </tr> </tbody> </table>		人員体制	通常時	内科系・外科系 医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科 二次輪番日	通常時当直体制 + 小児科医師 1 名の当直	休日夜間応 急診療所の バックアップ(小児科) 担当日	通常時当直体制 + 総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人 科一次救急 当番日	通常時当直体制 + 産婦人科医 1 名の当直	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に脳神経外科、整形外科等の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。</p> <p>(夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 各診療科専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備するとともに、当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。</p> <p>(夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 各診療科専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 ・臨床工学技士 オンコール体制
	人員体制											
通常時	内科系・外科系 医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制											
北和小児科 二次輪番日	通常時当直体制 + 小児科医師 1 名の当直											
休日夜間応 急診療所の バックアップ(小児科) 担当日	通常時当直体制 + 総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置											
北和産婦人 科一次救急 当番日	通常時当直体制 + 産婦人科医 1 名の当直											
<p>●診療科毎の対応レベル</p> <table border="1" data-bbox="103 1014 485 1845"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>対応レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>外科・ 整形外科・ 脳神経外科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>小児科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td> </tr> <tr> <td>産婦人科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td> </tr> </tbody> </table>	診療科	対応レベル	内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・ 整形外科・ 脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)	小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAGによる心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を充実します。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き、奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。</p>	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続しました。また、CAGによる心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を維持しました。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き、奈良県総合医療センターとの連携体制が確立しています。</p>
診療科	対応レベル											
内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)											
外科・ 整形外科・ 脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)											
小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可											
産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)											

令和3年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題																														
<p><医師のオンコール体制> 消化器内科、循環器内科、外科、形成外科、腎臓泌尿器科、産婦人科、小児科</p> <p>・脳神経外科については、他病院との連携体制で対応 連携実績</p> <table data-bbox="204 389 558 528"> <tr><td>近畿大学奈良病院</td><td>5件</td></tr> <tr><td>奈良県総合医療センター</td><td>9件</td></tr> <tr><td>市立奈良病院</td><td>1件</td></tr> <tr><td>野崎徳洲会病院</td><td>10件</td></tr> <tr><td>石切生喜病院</td><td>21件</td></tr> </table> <p>・当直時間帯での CT、MRI 検査、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術の各実績</p> <table data-bbox="146 904 807 1070"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>1,617件</td> <td>1,492件</td> <td>125件</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>97件</td> <td>75件</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>心臓カテーテル検査</td> <td>14件</td> <td>14件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>内視鏡検査</td> <td>14件</td> <td>17件</td> <td>△3件</td> </tr> </tbody> </table>	近畿大学奈良病院	5件	奈良県総合医療センター	9件	市立奈良病院	1件	野崎徳洲会病院	10件	石切生喜病院	21件		R3	R2	増減	CT	1,617件	1,492件	125件	MRI	97件	75件	22件	心臓カテーテル検査	14件	14件	0件	内視鏡検査	14件	17件	△3件	<p>○当直可能な常勤医師2名、看護師、放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員の24時間365日の救急受入体制が維持されている。</p> <p>○24時間365日、病院事業計画に掲げるCT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院並びに心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術に対応可能な体制が継続されている。</p> <p>課題 整形外科・脳神経外科の常勤医師の確保・増員に努め、外傷患者等への救急受入が可能な体制を整備する必要がある。</p>
近畿大学奈良病院	5件																														
奈良県総合医療センター	9件																														
市立奈良病院	1件																														
野崎徳洲会病院	10件																														
石切生喜病院	21件																														
	R3	R2	増減																												
CT	1,617件	1,492件	125件																												
MRI	97件	75件	22件																												
心臓カテーテル検査	14件	14件	0件																												
内視鏡検査	14件	17件	△3件																												

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 事業報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。</p>	<p>小児の救急対応、入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備を行います。</p> <p>○小児医療体制について ・北和小児科二次輪番体制へ参加します。</p>	<p>小児の入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。</p> <p>○小児医療体制について ・平成 30 年 1 月、令和 2 年 7 月に着任した常勤医師に加えて、令和 3 年 4 月にさらに常勤医師を確保し、常勤医師 3 名体制になりました。</p> <p>・北和小児科二次輪番体制へ令和 3 年 10 月から参加しました。(月 1 回)</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。</p> <p>○災害時医療体制の確立について 災害対策マニュアルに沿って現場スタッフや、状況に応じては地域住民も参加する実地訓練を行います。</p> <p>・消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練・机上訓練)</p> <p>市が実施する総合防災訓練に参加、協力します。 市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、病病連携強化を図ります。</p>	<p>大規模災害時における、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制整備に引き続き努めました。</p> <p>○災害時医療体制の確立について ・11/26 消防訓練実施 38 名参加 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練)</p> <p>・防災訓練は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。</p> <p>●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。(講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。) また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民の健康づくりや疾病予防を促進するため、院内講演の充実に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況をみながら、自治会等各種団体への出張講座を積極的に実施します。 市民の幅広い年代層が健診を受けやすくするよう努めます。</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 300 件 胃がん(胃内視鏡)検診 80 件 乳がん検診 120 件 子宮頸がん検診 230 件 肝炎ウイルス検診 15 件 特定健診 800 件 一般健診 1,200 件 人間ドック・脳ドック 1,050 件 その他団体健診等 1,700 件</p> <p>・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 700 件 肺炎球菌 70 件</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民との交流、健康づくりを推進するため、コロナ禍において、オンライン形式での医療講演会を定期的で開催しました。</p> <p>・医療講演会 (オンライン) 40 講座 参加者 736 名</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 204 件 胃がん(胃内視鏡)検診 55 件 乳がん検診 240 件 子宮頸がん検診 262 件 肝炎ウイルス検診 23 件 特定健診 852 件 一般健診 1,507 件 生活保護者等の健康診査 14 件 人間ドック・脳ドック 1,689 件 その他団体健診等 1,744 件</p> <p>・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 579 件 肺炎球菌 74 件</p>

令和3年度 事業報告の補足説明				取組の評価・課題																																																																								
<p><令和3年度小児科二次輪番体制当番日の患者数> (10月～)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>救急車</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>					救急車	その他	合計	入院	4	1	5	外来	10	11	21	計	14	12	26	<p>○小児科常勤医師の増員により、小児二次救急患者を含む小児入院診療体制が整備され、令和3年10月から北和小児科二次輪番体制へ参加することができている。</p> <p>○当院の産科での出生児の診療や1か月健診は小児科が担当している。また、胎児へのリスクの高い分娩には小児科が立ち会っている。</p> <p>課題 北和小児科二次輪番体制の当番回数を増やす等、地域の小児救急医療に対して、さらに貢献する必要がある。</p>																																																								
	救急車	その他	合計																																																																									
入院	4	1	5																																																																									
外来	10	11	21																																																																									
計	14	12	26																																																																									
<p>停電訓練 11/14 13時～16時 全館停電</p> <p>法定の電気設備点検の機会を活用して、災害を想定した停電時の訓練(自家発電などの非常用機器の確認など)を実施</p>				<p>○火災や停電、大規模災害を想定した体制が整備されている。</p> <p>課題 防災訓練を行う際には大規模災害を想定し、市災害対策本部、医師会災害対策本部や地元自治会と連携協力体制で実施する必要がある。</p>																																																																								
<p><医療講演会(オンライン)></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>40</td> <td>50</td> <td>△10</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>736</td> <td>744</td> <td>△8</td> </tr> </tbody> </table> <p><医療講演会(オンライン)の内容例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方との関わり方 ・市立病院とコロナ禍 <p><市民健診></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>204</td> <td>325</td> <td>△121</td> </tr> <tr> <td>胃がん(胃内視鏡)検診</td> <td>55</td> <td>62</td> <td>△7</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診※1</td> <td>240</td> <td>52</td> <td>188</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>262</td> <td>245</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td>23</td> <td>14</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>特定健診※2</td> <td>852</td> <td>955</td> <td>△103</td> </tr> <tr> <td>一般健診</td> <td>1,507</td> <td>1,431</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>生活保護者等の健康診査※3</td> <td>14</td> <td>4</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>人間ドック・脳ドック</td> <td>1,689</td> <td>1,156</td> <td>533</td> </tr> <tr> <td>その他団体健診等</td> <td>1,744</td> <td>1,681</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6,590</td> <td>5,925</td> <td>665</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 乳がん検診は令和2年11月から実施。 ※2 生活習慣病を予防・早期発見するための健診です。 ※3 健康増進法施行規則第4条の2第4号に定める健康診査</p> <p><高齢者インフルエンザ予防接種></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R2</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数(市立病院)</td> <td>579</td> <td>682</td> <td>△103</td> </tr> <tr> <td>件数(生駒市全体)</td> <td>17,559</td> <td>20,719</td> <td>△3,160</td> </tr> </tbody> </table> <p>※64歳以下の基礎疾患をお持ちの方の人数も含まれます。</p>					R3	R2	増減	件数	40	50	△10	参加者数	736	744	△8		R3	R2	増減	大腸がん検診	204	325	△121	胃がん(胃内視鏡)検診	55	62	△7	乳がん検診※1	240	52	188	子宮頸がん検診	262	245	17	肝炎ウイルス検診	23	14	9	特定健診※2	852	955	△103	一般健診	1,507	1,431	76	生活保護者等の健康診査※3	14	4	10	人間ドック・脳ドック	1,689	1,156	533	その他団体健診等	1,744	1,681	63	合計	6,590	5,925	665		R3	R2	増減	件数(市立病院)	579	682	△103	件数(生駒市全体)	17,559	20,719	△3,160	<p>○乳がん検診では、マンモグラフィを導入し、すべて女性の放射線技師が対応し、受診者に配慮した体制を整備している。</p>
	R3	R2	増減																																																																									
件数	40	50	△10																																																																									
参加者数	736	744	△8																																																																									
	R3	R2	増減																																																																									
大腸がん検診	204	325	△121																																																																									
胃がん(胃内視鏡)検診	55	62	△7																																																																									
乳がん検診※1	240	52	188																																																																									
子宮頸がん検診	262	245	17																																																																									
肝炎ウイルス検診	23	14	9																																																																									
特定健診※2	852	955	△103																																																																									
一般健診	1,507	1,431	76																																																																									
生活保護者等の健康診査※3	14	4	10																																																																									
人間ドック・脳ドック	1,689	1,156	533																																																																									
その他団体健診等	1,744	1,681	63																																																																									
合計	6,590	5,925	665																																																																									
	R3	R2	増減																																																																									
件数(市立病院)	579	682	△103																																																																									
件数(生駒市全体)	17,559	20,719	△3,160																																																																									

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 事業報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。</p>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み 入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組及び対応できない理由について、院内掲示、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など広く市民等に周知します。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査(中間報告を含む)について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院事業推進委員会 ・市立病院管理運営協議会 ・入院・外来患者アンケート調査 ・ご意見箱の内容に対する対応 <p>○市民交流事業について 市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況をみながら、市民交流事業を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康フェスティバル ・院内コンサート等 	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み グループ全体で実施した令和 2 年度入院・外来患者アンケート調査の結果について、令和 3 年 4 月のホームページ更新に合わせて公表しました。 さらに、ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査については、市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、次年度の事業計画作成時に反映させる予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。 (回答総数 632 件) <p><健康フェスティバル> 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p> <p><院内コンサート> 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO (国際標準化機構) 14000 シリーズの認証取得を目指す。</p>	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化します。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。 	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。

令和3年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題
<p><生駒市病院事業推進委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9/3 第26回会議 会議内容 令和2年度実施状況調査報告書(3ヶ年のまとめ)について ・ 3/19 第27回会議 会議内容 令和4年度に係る生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書(案)について <p><生駒市立病院管理運営協議会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/31 令和3年度第1回会議開催 会議内容 令和2年度実施状況調査報告書(3ヶ年のまとめ)(案)について ・ 11/30 令和3年度第2回会議開催 会議内容 令和3年度中間報告書(案)について ・ 3/17 令和3年度第3回会議開催 会議内容 令和4年度事業計画書について 	<p>○ご意見箱における患者や利用者の意見等を精査し、対応可能な案件については速やかに対応することで、市民満足度の向上につながる仕組みができています。</p> <p>○退院時に市立病院が独自で行う患者アンケートを実施することにより、患者の意見を集約し、患者満足度の向上に努めています。</p> <p>○病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会において、市民等に情報を提供し、意見を聴取することで、市民参加による病院運営が可能となっている。</p>
	<p>○市組織と同等の取組みが実施されている。</p>

収支

(単位 千円)

令和3年度事業計画 (令和4年3月末)		令和3年度事業報告		計画と報告の差額	
医業収入	4,029,490	医業収入	5,656,343	医業収入	1,626,853
医業費用	3,962,878	医業費用	4,232,270	医業費用	269,392
医業利益	66,612	医業利益	1,424,073	医業利益	1,357,461
その他費用	251,063	その他費用	0	その他費用	△ 251,063
医業外収益	20,000	医業外収益	31,646	医業外収益	11,646
医業外費用	0	医業外費用	1,648	医業外費用	1,648
経常利益	△ 164,451	経常利益	1,454,071	経常利益	1,618,522